

第18回 河川財団 研究発表会

日時 令和2年10月29日(木) 13:00～17:00 12:30 受付開始

会場 一橋大学 一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-1
都営新宿線・三田線 東京メトロ半蔵門線 神保町駅 A8・A9 出口 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅(1b 出口) 徒歩4分

定員:200名

特別講演



本特別講演では、昨年度の台風19号による甚大な被害状況を受けて、今後の河川管理のあり方などを考えていくため、「令和元年台風19号豪雨災害調査団」総団長の清水教授をお招きし、調査から得られた貴重な知見をお話いただき、方向性を考えるための基盤を共有することをテーマとしております。

「土木学会水工学委員会・令和元年台風19号豪雨災害調査団報告」

群馬大学 大学院理工学府 教授 清水 義彦

講演者プロフィール

清水 義彦 しみず よしひこ

1985年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修士修了。京都大学・愛媛大学を経て、1991年群馬大学に着任。現在、群馬大学大学院理工学府教授。専門は河川工学。洪水による河川地形形成のメカニズム解明と河川植生の動態予測などを研究テーマとした利根川水系のフィールドから河道管理に関する検討を国土交通省と共同で行っている。土木学会水工学委員会委員長、社会資本整備審議会専門委員、群馬県河川整備計画審査会会長などを歴任。

プログラム

※研究発表の題目は変更になる場合がございます。

 本発表会は土木学会CPD認定プログラムです。

13:00	開会・主催者挨拶	河川財団 理事長 関 克己
13:10	特別講演	群馬大学 大学院理工学部 教授 清水 義彦
14:10	休憩	
14:20	「河川財団の調査研究の今後の展望—台風19号出水後調査により得られた知見の河川維持管理技術への反映」	河川総合研究所 所長 藤田 光一
14:35	「台風19号の出水後調査で得られた知見—侵食・洗掘評価技術の進展に向けて」	河川総合研究所 研究員 桐生 真澄
15:00	「河道維持管理における流下能力評価の拡充」	河川総合研究所 研究員 本田 洋平
15:25	休憩	
15:35	「堤防の変状の要因と進行性を考慮した点検評価技術」	河川総合研究所 主任研究員 若山 瑞雄
16:00	「河川維持管理における三次元等データの効果的な活用」	河川総合研究所 研究員 塩谷 優太
16:25	「流域の概念を学び水害等に関する知識と思考力・判断力を醸成する教材開発」	子どもの水辺サポートセンター 主任研究員 菅原 一成
16:50	閉会・挨拶	河川総合研究所 所長 藤田 光一

申込方法

右図のQRコードよりお申し込みを受付しております。



申込専用フォーム

注意事項

※定員になり次第、お申し込みを締め切らせていただきます。予めご了承ください。お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、本研究発表会の運用管理のみに使用いたします。
※本研究発表会は新型コロナウイルス感染症対策として、「東京都感染拡大防止対策ガイドライン」による対策に沿って運営いたします。座席は全て指定席とし、通常の会場収容人数の半数を定員とさせていただきます。これにより皆様のご希望に添えない場合がございますが、何卒ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

申込期限

令和2年10月23日(金)

問合せ先



担当: 鈴木・軍司
TEL: 03-5847-8305